

# スポーツフェスティバル

## 三世代ふれあい

令和三年十一月二十日に乙島力の割公園でスポーツフェスティバルが実施された。老人連合会の乙島支部が毎年実施しているフェスティバルである。

今回は、乙島東小学校区の親子世代にも声掛けをして、参加することになった。感染予防のためのマスクや手袋をつけての参加ではあるが、これこそ三世代のふれあ

ういい機会となった。天気も最高の秋晴れとなりフェスティバルの後押しをしてくれた。幼児から高齢者までおおよそ二百二十人の参加であった。恒例となっている玉入れや綱引きの競技では、若いも若きも、一つになって楽しんでいった。また、グラウンドゴルフや菓子キャッチ競技なども、趣向を凝らした競技だった。どの競技にもすばらしい賞品がふれる一日となった。



### 三世代ふれあいスポーツフェスティバル

玉島地区老人クラブ連合会乙島支部  
乙島東小学校区社会福祉協議会

日時：11月20日(土) 9時30分～11時30分ごろ  
受付：9時～9時30分  
(雨天の場合は、11月27日)

会場：乙島力の割公園

#### 【競技種目】

- ①ジヤンケンポン競争
- ②風船割り競争
- ③グラウンドゴルフ競争
- ④輪投げ競争
- ⑤キャッチ菓子取り競争
- ⑥紅白玉入れ競争
- ⑦ボール運び競争
- ⑧綱引き競争

#### 参加者の皆様へ

1. マスクの着用
2. 各自で手袋(軍手など)の用意を
3. 飲料水も各自で

コロナ感染対策のため、上記のことについて  
厳守をお願いいたします

賞品を入れる袋も忘れのないように



# ご挨拶

## あいたつの意味

会長 小野 貢

令和三年度も、コロナ禍で制限を受けながら皆様のご協力によりいくらかは遂行することができました。一日も早く収束し従来の行事が展開できることを願っているところです。

さて、「あいたつ」の漢字の「挨」も「拶」も、ともに迫るとか、近づくとという意味の漢字が充てられているそうです。

人と人との出会いや、仕事の始まりが、挨拶でスタートしている意味が分かるような気がします。

ある寺で長年修行している弟子が「何年も和尚の下で修業してきているが、和尚は具体的に何も教えてくれないが」と不満を言った時の話です。

和尚は、「私はいつも教えているではないか」と答えたところ、弟子は、「何のことか、まだ私には解りません」

と。すると、和尚は、「私は、おまえがお茶を出してくれたら、いただきますと言ひ、おはようございませと言ひはおはようと答えているではないか。これ以上お前に教えるものは何もない」と言ったそうです。

何をやるにしても、日常の挨拶や会話が自然に言えることが、一番大事なことで身をもって教えています。明るい挨拶を掛け合つて、より良い人間関係や明るい社会を作る潤滑油にしていきたいものです。



# ご挨拶

## 乙東小の子どもたち

乙島東小学校長 鮫島 正



今年度より倉敷市立乙島東小学校の校長を務めております鮫島正と申します。地域の皆様にはいつも大変お世話になっております。どうぞよろしくお願い致します。

四月に新任校長として乙東小に赴任して、毎日子どもたちと楽しく過ごすうちに早くも一年が過ぎようとしています。乙東小の子どもたちは、明るく素朴で思いやりのある

子どもが多いです。

ある日、運動場にスイセンの球根が転がっていました。「これ何だと思つ?」と尋ねると、「にんにく!」「玉ねぎ!」と、ユニークな答えが返ってきます。「絶対食べたらいけんよ。」「分かつた!」と言ひながらみんなで笑います。毎日一本ずつシロツメクサの花をくれる子、捕まえたバツタを大事そうに見せてくれる子、ドッジボールになると急に元気になる子など、休み時間は教室では見られない様々な子どもの顔が見られます。どの子も本当に楽しそうに遊んでいます。

また、登校してから朝学習が始まるまでのわずかな時間に、靴箱の周りや廊下を掃き

掃除してくれる高学年の子もたちがあります。誰に頼まれたわけでもなく、純粋に学校のため、みんなのために乙東小の伝統を受け継いで取り組んでいます。その姿がグリム童話の「こびとの靴屋」に出てくるこびとたちと重なつて、児童朝礼で紹介したことがあります。私なりの解釈ですが、誰が見てみようといま進んでできる「こびと」のような子どもたちが乙東小にはたくさんいます。これからもっともつと増えて、思いやりと笑顔いっぱい学校になるといいなと思います。

まだまだコロナ禍によるいろいろな制約はありますが、子どもたちが地域の皆様と交流できるようになりましたら、ぜひ乙東小に足をお運びいただき、子どもたちとふれあいたいと思っています。

# 避難訓練

## 緊急避難所開設

令和三年十月三十一日の全市一斉の総合防災訓練に合わせて、実際に、乙島東小学校の「緊急避難所」を確認し、災害時の対応などを家族で話題にすることが目的だ。

令和元年六月に、倉敷市は乙島東小学校を「洪水や津波



い時の緊急避難所」に指定し、北側の校舎の四階を使用することになった。そこで、北側の道路から、校舎に通じる橋が、令和三年春に新設された。この橋を渡つて、既設の外付け非常階段で四階の避難所用の教室にたどりつくのだ。

子供たち約三十名、大人百三十名余りが参加した。

四階の教室では、緊急告知のラジオの活用法や非常持ち出しバッグと避難グッズなどの展示があり、参加者は関心をもって見入っていた。



### 防災訓練に参加しよう!

洪水や津波時に、その場のない時の緊急避難場所を確認しておこう!

日 時： 10月31日(日) 午前9時～11時30分

緊急避難場所：乙島東小学校北階校舎4階  
(北側校舎から外付け階段を使用して避難場所に移動する)  
4階の避難所には、非常時のグッズなどが展示されています。参加費も受け取っていません。

津波避難橋が発表されたら、海岸や河口付近から離れ、高い所に、避難することになります。その場のない時に、乙東小の北階校舎4階を利用する。

階高：3.2メートル  
第一波の到達時間は、2時間少々



